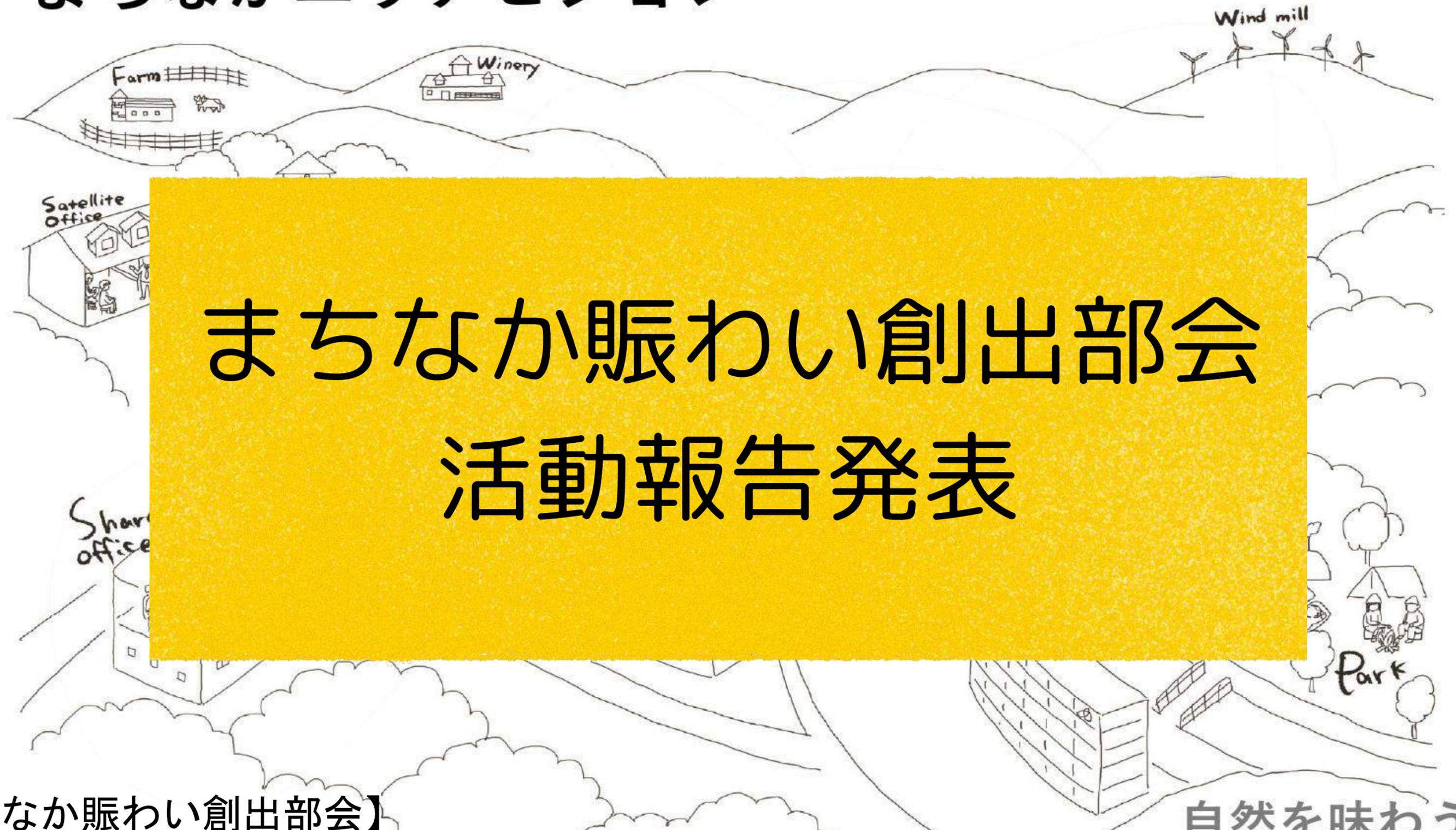


まちなかエリアビジョン



まちなか賑わい創出部会 活動報告発表

2 【まちなか賑わい創出部会】

(1) 歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ

自然を味わう
まちなか暮らし

「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けたエリア全体の価値向上

3

-2. くずまきのリノベーションまちづくり

まちなかのエリア再生ビジョン

ーリノベーションまちづくりとはー

当事者である町民自身が

今までとは違った視点をもってまちの魅力を捉え直し

自分たちのアクションをもとに

暮らしの選択肢を増やしていく取り組みです

くずまきの資源を新しい視点で捉え直し新たな価値を生み出しまちに変化を与える
空間資源と地域資源を組み合わせ民間主導でプロジェクトを興し行政が支援する
経済合理性を追求することで持続性の高い事業を生み出す
地域を活性化し経済循環を高めることで地域経営課題を解決する

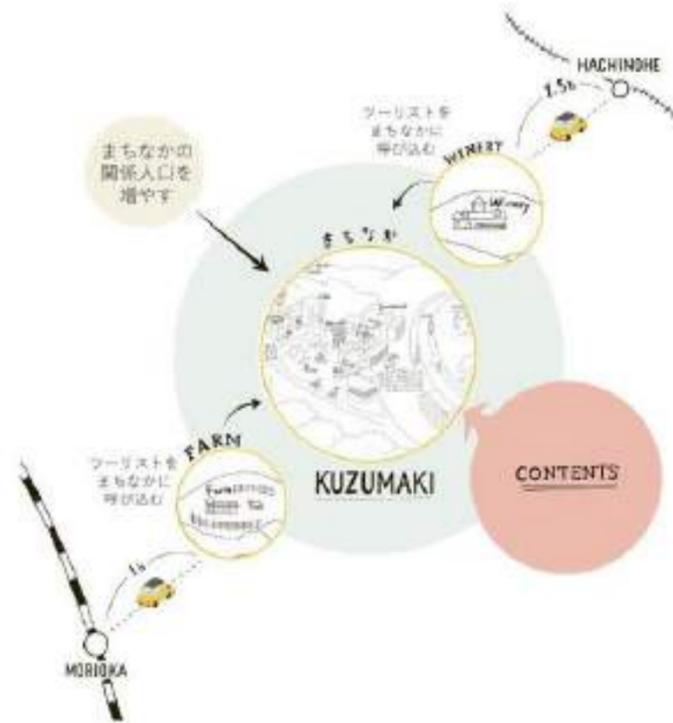
くずまきだからこそ

ジブンゴト

3 -3. まちなか再生コンセプト

まちなかのエリア再生ビジョン

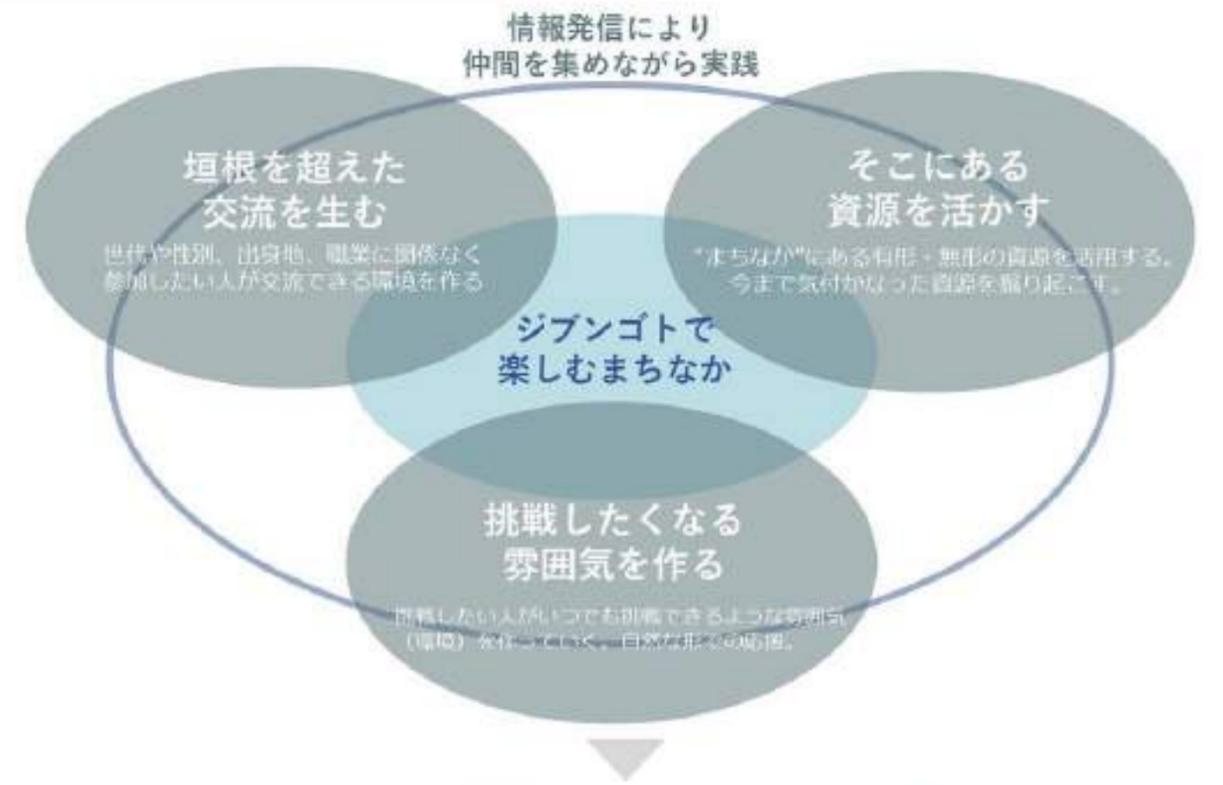
- 豊かな自然を持ちながら
経済圏の中心にある
くずまきのまちなか
- いまは通過されるそのまちなかの
恵まれた立地条件を最大限生かして
- くずまきらしい楽しいコンテンツ
くずまきらしく暮らせる環境を創出し
- ここにしかない魅力のある
山村暮らしをつくる



CONCEPT | 自然を味わうまちなか暮らし

3 -4. わたしたちのアクションプラン

まちなかのエリア再生ビジョン



これらを実行することにより自然を味わうまちなか暮らしを実現する

非日常づくり

茶番祭

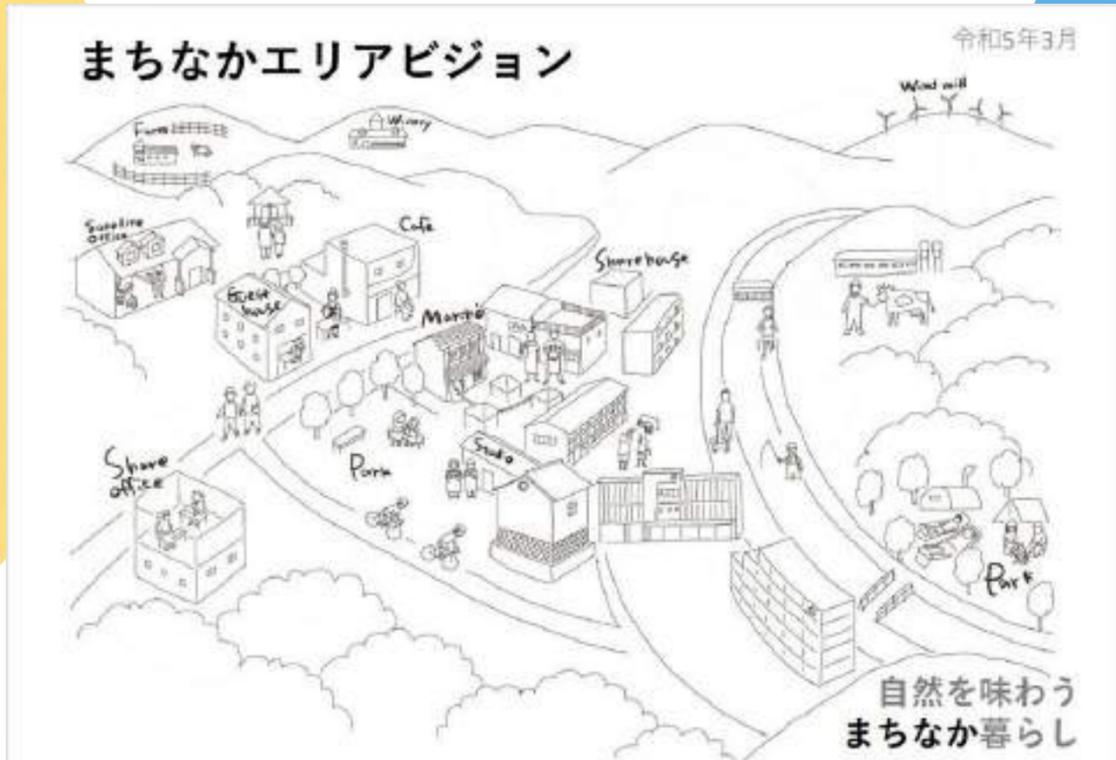


大のオトナが純粋に！真剣に！
まちなかの自然をあそび倒す1日

2023.9.30.SAT 竹のまちワークショップ
START 10:00 CLOSE 20:00
会場/喜登町さくら公園 川内町民会館
※会場は無料の駐車場をご利用ください (くすぶーぶ)

フリーエリア稼働
思い思いにたのしんでください。
アイキャッチ、お昼、お遊び etc...
お昼食は各自で。すべてご自分で準備ください。
フリーエリア稼働は、事前申込みが必須です。
お申し込みは9月11日まで。

主催/くすぶーぶMOCまちなか創生財団
問い合わせ/事務局096-311-1111 096-3411



旧遠藤邸

日常づくり

月3万円の わたしごと ローカルプレイヤー創出



町をもっと身近に



「町を遊び暮らす」目線で まちなかの公共空間をつかってみよう

当たり前にある自然を味わいながら、町に暮らすわたしたちの「やってみたい！」を町の公共空間で実現してみませんか？
2023年更新された「くずまきまちなかエリアビジョン」のイメージを共有して、「さくら公園」と「旧速藤邸」の利活用の道を一緒に考え、実践できる場をつくりま

ミブハエトミ



- どなたでも参加できます
- 参加費無料
- 持ち物「前向きな心意気」と「遊び心」

運営 | (株)やどり木
主催 | 吾妻町役場
お問い合わせ | いらっしゃい吾妻推進課
担当 大川原 八重程
0195-66-2111 (代表) 内線443

茶番祭



**町有施設、町有空間の利活用
人のポテンシャル活かす**



旧遠藤邸

茶番祭



7月11日 第1回部会

会場：さくら公園

焚き火を囲みながら
部会員の顔合わせ
今年度の方針を決める

茶番祭

青木純氏

(株)まめくらし、リノベリング



首藤義敬氏

(株)Happy



7月27日 第2回部会

会場：さくら公園

首藤氏講演会

「Happyの家ろっけん」での
多世代共同介護付き住宅

『暮らしの中の登場人物を増やす』

職種や年齢、国籍などが異なる人々が
出入りしていくろっけんの日常。
また人の人生に巻き込まれてながら
自分の人生に巻き込んでいく喜び。

茶番祭

9月29日 茶番祭前日 会場準備



茶番祭

9月29日 茶番祭前日 会場準備



茶番祭

9月30日 茶番祭当日



茶番祭

9月30日 茶番祭当日



茶番祭

9月30日 茶番祭当日



茶番祭

9月30日 茶番祭当日



茶番祭



「茶番会」

- ・ 茶番祭の次の発展
- ・ 体験をもとに、新しい動きを生み出す母体
- ・ 相談役的役割

旧遠藤邸



まちなか町家「おえん」

ご縁の“えん”

縁側の“えん”

遠藤の“えん”



縁側のように
人が立ち寄り、居られる
まちなかの
サードプレイスの居場所

旧遠藤邸

7月25日 第1回部会

改定されたまちなかエリアビジョンについて学び、それを通して自分たちがおえんをどう愉しく活用していきたいかのアイデア出しをした。別の部屋では子供たちが遊んで過ごし、同時に色々な時間の過ごし方が叶ういい場所であることを体感した。



旧遠藤邸

8月25日 第2回部会

“だからこそ”の視点

鹿児島から『横川kito』代表白水梨恵さんをお呼びして、霧島市横川町でのご自身のCafe兼ゲストハウス運営と、国登録有形文化財を生かした地域づくりについてお話いただいた。地域特性として、人口や産業、立地環境などが葛巻町にとっても似ている中で、町有施設である旧遠藤邸をわたしたちがどう生かしていくのがいいのか参考にする時間となった。

『横川kito』白水梨恵さん



旧遠藤邸

「番頭制」

ひとりひとりの“居る”場所へ

- ・ 定期的に開いている状態にするために番頭さんが常駐
- ・ 自治運営
- ・ 通信の作成と全戸配布





旧遠藤邸

町民のジブンゴトによる運営、活性化 更なる自主的参画を活発にしてい



茶番祭

